

## 5. 結論

喫煙容認場所の利用状況を評価し揭示すること、その評価によっては喫煙容認場所設置を取り消すという警告、そして喫煙学生とのコミュニケーションの改善が相まって、利用マナーの向上は達成された。利用状況評価終了後も良好な状態を維持していることから、喫煙者の意識啓発に有効な手法であった。

## 【謝 辞】

本学の禁煙化活動は長年の禁煙化委員会における委員の熱意と情熱に支えられて進んできた。本論文も、すべての委員の活動の成果の一つであり、心より感謝する次第である。

## 【参考文献】

- 1) 山本眞由美、田中生雅、武田純ほか：大学職員の喫煙者を対象に実施した喫煙の実態調査～敷地内全面禁煙施行2年を経過して～、日本禁煙科学会誌 1(3), 2007
- 2) 中井久美子、高橋裕子、清原康介ほか：全国国立大学法人における喫煙対策調査(2006年度調査)、日本禁煙科学会誌 2(4), 2008
- 3) 中井久美子、高橋裕子、清原康介：大学禁煙化プロジェクトにおける喫煙大学生への禁煙支援介入の成果、日本禁煙科学会誌 2(4), 2008
- 4) 東山明子、津田忠雄、高橋裕子：大学生の喫煙意識—大学生喫煙者の喫煙実態と喫煙経費限界意識について—、日本禁煙科学会誌 3(43), 2010

## 花便り

-2013. 01-



明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

今年の皆様の益々の御健康とご発展を、味噌天神に祈願しておきます。

2013年 巳年

※写真は「熊本城 本丸御殿 照君の間 天井画 マンリョウ」

(写真と文)

熊本大学薬学部

薬用資源エコフロンティアセンター准教授 矢原正治

URL : (熊本大学薬学部「今月の薬用植物」)

<http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/flower/>